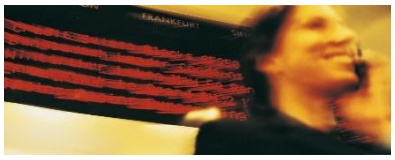
生命保険には定期的な見直し（メンテナンス）が必要って本当??

「一度生命保険に加入すればあとは安心」と思っている方も多いのではないでしょうか。ですが、保険に加入したときと現在を比べると、ライフステージや家族構成が変化している場合があります。
例えば、独身のときに必要な保障額はご自身に万が一のことがあった場合の葬儀代程度とも言われますが、結婚したりご家族が増えたりすると、遺されたご家族の生活費が必要になります。つまり、ライフステージが変化すれば、備えるべき保障額も変化するため、現在加入している保険が“今の自分”にマッチした保障になっているか、**定期的に見直すことが必要**なのです。
保険見直しのタイミングはさまざまですが、結婚やお子様が誕生したとき、お子様の独立など、ライフステージの変化に合わせて見直すのが一般的です。現在のご自分の年齢や家族構成・マイホームの有無などに合わせて保険の見直しを検討してみましょう。



保険見直しのタイミング

❶家族構成の変化

結婚やお子様が生まれたときは、万が一のときにご家族の生活費・教育費をまかなえるように死亡保障を手厚くする必要があるでしょう。一方で、お子様が独立しセカンドライフを迎えた場合は、一般的に必要な保障額は小さくなります。

❷マイホーム購入時

マイホームを購入し、住宅ローンを契約する際には、団体信用生命保険に加入するのが一般的です。住宅ローンの契約者に万が一のことがあっても、住宅ローンの残額が保険で支払われるため現在加入している死亡保険の保障を見直してもよいかもしれません。

❸誕生日・更新月

一般的に生命保険の保険料はご契約時の年齢によって異なります。見直しを検討する場合は、年齢が上がる前の方が保険料は安くなります。また、現在加入している保険が保険期間の満了・更新を迎える場合、保険を見直す良いタイミングでもあります。更新する前に、更新後の保険料や保障内容を考えて、見直しを検討するのも良いでしょう。

❹収入の変化

加入当時と比べて、収入が増えている場合は遺されたご家族が現在と変わらぬ暮らしができるよう、万が一の場合の保障額を増やした方が良いでしょう。反対に収入が減っている場合は、保障額は変えずに、保険期間や保障内容を見直して保険料を抑える方法が望ましいでしょう。

Transfer of Risk to Insurance

当社は、日本弁理士協同組合が設立した専属代理店です。
保険のプロフェッショナルとして、安定した事務所経営と暮らしをサポートします。

日本弁理士協同組合専属代理店
有限会社エヌビー保険サービス
〒107-0061 東京都港区北青山 2-12-16
北青山吉川ビル 3 階
TEL 03-5772-8055 FAX 03-5772-8056
Mail nb-service@nifty.com
公式 HP